

“ふじのくに”土民協働事業レビュー結果

(交通基盤部)

事業番号	5	事業名	社会資本整備総合交付金事業費(街路)
------	---	-----	--------------------

1 基本情報

実施日/班名	9月7日 第2班	時間	10:08~11:32
担当課名	街路整備課	事業費	2,242,000 千円

2 レビューの結果 施策を推進する効果の程度

結果	一定の効果がある	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	6
			一定の効果がある	21
			あまり効果がない	0

3 県民評価者の意見

(1)見直し・改善策

目的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞率は把握しにくい。一本道路なら求められるが、迂回路に逃げている車の把握はしにくい。 ・効果の表示を定義してから数値を出してほしい。県民からすれば感覚的な面での表示となる。指標はいろいろテストしてみてもどうか。 ・都市部と地域バランスを指す表示方法はないか(政令指定都市と県との関わりのバランスも含めて)。 ・コストだけではなく環境を配慮した指標や取り組みが必要では。 ・成果指標(渋滞)では評価しにくい。 ・道路ニーズを調査し、その結果を客観的に集計できているのかが気になります。事業の性質上途中から目的への貢献度を改善することは出来づらいので。レビューは計画段階で行われなければ効果を得られないと思います。 ・インフラ事業は短期に広域の県民から評価を得るのは難しいですが、分かり易い指標による「点数稼ぎ」にならないように今後とも頑張ってください。 ・成果指標として、防災性の向上率のようなものを数値で表してもらえると、県民にとって身近な観点で評価できると思います。道路の利便性が上がれば、同時に災害が起きた時の主要道路としての使用も考えられると思うので。 ・電柱の地中化、道路の拡幅等は、それぞれ非常に重要かつ住民にとって必要な事業であるので、もう少し説得力ある目標を掲げて取り組んでほしい。 ・指標があいまい。どのように評価していいかわからない。説明も不明瞭な部分があった。一定の評価はできるが、効果について明確なものがほしかった。
対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体に同じようなサービスを受けられるような事業にしてほしい。 ・交通量とか危険性等を踏まえ、優先順位をしっかりと決めて取り組んでいただきたい。特に歩道のない主要な都市計画道路は、一刻も早く整備していただきたい。 ・優先順位を再考すべき(安心安全の観点から)。 ・インフラ整備事業は推進することは大変良い効果を生んでいます、その道路につながる道路も合わせて考えないと真な改良にはならない。 ・自転車、ベビーカーのための配慮がほしい。 ・現地の人を求める改善案を立案してほしい(机上の提案ではなく)。 ・市町との連携をさらに強化し、迅速な事業推進をされた方がよい。

事業内容

- ・地域により交通の流れ、通行の目的等も異なるため、一律に評価することは難しいと思われますので、市町との連携を図り、進捗している事案を、自信を持って進められたら良い。
- ・道路整備の基本は安心安全だと思うので、県民の意見をよく聞いてほしい（住民説明会を多くしてほしい）。
- ・既成市街地での整備について市との連携を行って、安心安全の部分を充実させていくと豊かさが実感できるのではないかな。
- ・道路、街並周辺を同時に進めて行けないか。
- ・予算的なことは分かりにくいですが、財源的に可能である限り実施されればと考えます。大きな市ばかりでなく、小さな町、村にも公平な施策推進が望まれます。
- ・街路事業、道路事業を作るだけでなく、商業などの付帯するものを作る。
- ・安心安全を求めて街路、道路事業を推進されているが、車社会を中心に計画されている。弱い立場（自転車、歩行者、特に学童）の人々が、安全に生活道路が確保される。大変でしょうがご理解ください。
- ・渋滞の緩和、利便性のみを追及するのではなく、子供やお年寄りが安心して使えるという観点でも考えてもらい予算を使ってほしい。
- ・生活環境は変化が大きいので常々（道路等の必要性の変化）見直してほしい。
- ・県の施行すべき街路事業が目的通りに行われているかどうか、かなり分かりにくい。せっかくの事業が効果的に整備されてないと思ってしまう。全体的に市民に分かりやすいのは数字だけであると思う。細切れの事業では評価が出来ない。安心して安全をもっとアピールしてほしい。事業が車中心のものになっている、住民あつての街路では？
- ・歩行者、自転車にとっては、立体化ではなく単なる拡幅という手段も考えてほしい。
- ・鉄道と立体になっても自転車は通りにくい。熱函道路と伊豆箱根の道路も人は会談で越せるが、自転車は大回り、ベビーカーは更に大変。立体交差は人にやさしくない。
- ・無駄の徹底排除。
- ・社会の変化にも対応する必要性。
- ・中味の重点化、災害に強い安心安全。
- ・防災 無電柱化。
- ・社会情勢に伴う事業推進が必要ではないか。
- ・渋滞緩和されることは良いが、維持、管理、安全性をもっと考慮していただきたい。
- ・新規事業の道路も大事だと思いますが、従来の道路のメンテナンスも考えてほしい。
- ・一例とは思いますが、57 ページに湖西市の立体交差化の事業が示されているが、整備前、歩行者、自転車にとっては狭いながらも最短で通過できた踏切が、整備後は昇り降りを含め距離も長くなり（安全性は確保できたかもしれないが）かえって困難になったとも考えられるのではないかな。

(2) その他の意見

- ・事業内容（手段、手法）に沿って、完了事業（箇所）を説明、数値化されたほうが効果として評価しやすいのではないかな。
- ・「みちみちミーティング」の話も聞いた、県で実施していても県民には理解されていなかった。
- ・現状を種々調査されている様子を見ているので今後もすすめてほしいと。
- ・車が絶対優先になっている。道路の計画ばかり進めている。
- ・県東部の遅れを痛感した。
- ・「わくわくする公園が町の魅力」小さい公園が沢山あっても草公園になっている、陽陰のある散歩できる公園が楽しい。
- ・筋違いの交差点がいくつか目立つ。三島一号線三好町でも、喰い違った交差点は2回信号が切り替わる。
- ・136号線青木の交差点も、東進の次に西進の信号があり南北の道路が進みにくい。
- ・限られた予算の中で都市計画の道路の見直しはなるべく早期に実施してほしい。
- ・専門委員からもありましたが、自転車、歩道、地震避難道路を含めた総合計画を早くしてほしい。

- ・私は浜松の住民ですが、津波対策での防波堤建設ですが、大きな寄付金を基として天竜川西河口から浜名湖今切口東までが建設と決まっておりますが、県と湖西市は愛知県境までの建設を考えても良いのではと思います。財源的に豊かな市だけが防波堤が出来て多くの方が助かり、財源が無い湖西市民は助からない人が多く出ると言うのは、県民の一人として考えさせられます。この辺のところをしっかりと考えていただければと思います。
- ・道路整備は県民にとっても活力の基となるものであるので、都市計画に基づいた主要道路整備は積極的かつ速く事業を進めてほしい。
- ・長期間かかる事業にて、今後の見直しを明確にいただければと思います
- ・県と国、市町との連携は十分か。
- ・メリットはどう捉えているのか。
- ・渋滞緩和が図られるのか、新しい道路が渋滞を呼ぶ時間帯に流れが改良できる信号等の時間を変更して、流れを見て行ったら。
- ・街路事業は安心して安全な生活をしていくために必要に応じて整備してほしい
- ・事業としては一定の効果はあると思うが、事業内容の説明が不明確で分かりづらい。
- ・評価するに当たり、具体的な（分かり易い）資料が少なく評価が困難。
- ・国、県、市、町と関連する事業で、県の施策の推進の評価は難しい。
- ・道路整備は必要だと感じる。
- ・自分の近辺でも景観がよくなった。時間がかかる工事がゆえに渋滞が渋滞になるので考えてやって欲しい。道路標示だけで渋滞が解消する場合もある。道路が人の流れを変える。道路は地域のシンボルとして人の心が豊かになっていく。意欲もでてくるので道路整備は続けてやって欲しいが経費がかかるので有効に使ってほしい。